

3月15日 篠崎図書館主催の
江戸川人生大学学生、卒業生による
「春の朗読会」に行ってきました。

プログラム		
作品	著者	朗読
泣きたいときには、くちぶえ	重松 清	坂井 敏子
男を手玉に取る人妻	千夜一夜物語	酒井 弘文
リリー・マルレーンを聴いたことがありますか	鈴木 明	千倉 洋子
<休憩>		
ちっちゃなかみさん	平岩 弓枝	金子 律子
		嶋田 和江
		住谷 信夫
偉丈夫	藤沢 周平	堀川 和男



どこかノスタルジックな笛の音で始まりました



始めは代表によるプロローグ



愛犬の死に際して家族の悲しみや思いを書いたもので、切なくも温かい物語



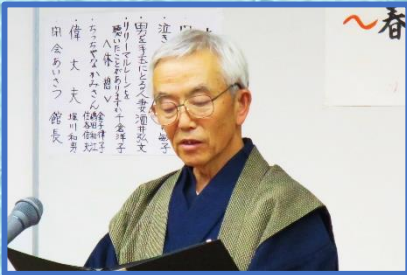
どんな悪妻なのかと思いきや、夫を牢屋から救い出す聡明な妻の話



誰からも愛されたリリーの話 終わってからの千倉さんの歌声に感激



御店の娘お京と豆腐屋の新吉の身分違いの恋物語
親に猛反対されるが、新吉の幼い妹が二人の仲を繋ぐけなげな話でウルウル (A)



ある藩内で、漆栽培をしている山の線引き問題で、本藩と支藩が争う話



バラエティーに富んだ出し物でおもしろかったです。また、演目により衣装を変えるなど、目でも耳でも楽しませて頂いた朗読会でした。たまにはこんなゆったりとした時間を過ごしてみたいかながらでしょうか。次回は5月30日、7月25日 タワーホール船堀 3F 応接会議室 10:30~11:45 是非お出かけください。